

三輪野江小
みんがわくのびえがおで
子どものよさを伸ばし 毎日がわくわくする

「スポーツの力・絆」
校長 浦井 智治

いつも学校だよりをお読みいただき、ありがとうございます。突然のことではありますが、元日に発生した能登半島地震により被害を受けた地域の皆様に心からお悔やみ申し上げます。この大きな災害が一日でも早く収束し、被災地の方々が平穏な日常を取り戻されますよう、心よりお祈り申し上げます。

改めまして、新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様や地域の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。本年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

さて、昨日、全国高校サッカー選手権決勝が行われ、青森山田高校が優勝しました。今大会には、石川県代表の星稜高校も参加していました。星稜高校は12月31日、四日市中央工業高校に勝ち、1月2日の三回戦進出を決めていました。そんな中、1月1日に能登半島地震が発生しました。石川県も甚大な被害を受け、1月2日に石川県から来る予定であった星稜高校の応援団は会場にこられなくなりました。

そこで、星稜高校同窓会関東支部がSNSで「高校サッカー選手権、三回戦ですが、石川県からの応援団は地震の影響により、出発中止となり、応援がない見通しです。このような状況ではありますが、在関東の方で声援を送っていただける方おりましたら、ぜひ来場いただき、選手たちに声援をお願いします。」と呼びかけたのです。しかしながら、当初予定していた応援団には到底足りません。しかし、試合が始まるとスタンドには、ピンク色のユニホームの上に、黄色のビブスのようなものをまとった一団の姿がありました。星稜高校のユニホームの色は黄色と緑です。星稜高校の同窓会関東支部がSNSで応援を呼び掛けていることを知った日大藤沢高校（神奈川）＝2回戦敗退＝の選手たちが、黄色いゴミ袋を活用して即席のユニホームを作り、友情応援をしたのです。

さらに、対戦相手の市立船橋高校では1日夜、星稜高校の応援団が会場にたどり着けないことを知った後援会が、緊急でミーティングを開き「自分たちに何かできないか、と考えました」。同校の野球部が星稜カラーの緑色のメガホンを使用していることから、野球部に急きょ連絡をとり、使用の快諾を得ました。そして、支援を名乗り出た女子バスケ部の分も含め、合計350本のメガホンを星稜サイドに貸し出しました。スタンドには「共にがんばろう石川！」「被災者の皆さまに一日でも早く日常が戻りますように！」市立船橋高校などのメッセージを記した横断幕も準備され、この日のスタンドに掲げられました。ほかにも会場には第2試合を行う岡山学芸館高校（岡山）、名古屋高校（愛知）の応援団も第1試合からスタンドに集まり、星稜高校に声援を送りました。（スポーツ報知）

能登半島地震によって、被災地は困難な状況に直面しました。しかし、その中でスポーツの力によって、絆が深まっていく姿がありました。全国高校サッカーにおいて、星稜高校の応援に駆けつけた日大藤沢高校の生徒たちや、市立船橋高校から届けられたメガホンは、まさにスポーツがもたらす結束と助け合いの象徴でした。

これらの姿は、スポーツが人々を結びつけ、共に困難を乗り越える力を示しています。スポーツは、単なる競技だけでなく、結束や連帯の象徴として、地域社会に多くの良い影響をもたらします。これからもスポーツが、人々を勇気づけ、絆を深め、地域社会を元気にする手段となっていくことを期待しています。そして、子供たちには、そんなスポーツの力・絆を伝えていきます。

学校教育目標 あきらめず挑戦できる子

勉強する子・やさしい子・元気な子

児童数 1年27名 2年24名 3年30名 4年33名
5年36名 6年37名 ひた 9名 合計196名

令和6年1月9日 発行
〒342-0022
吉川市加藤641番地
TEL 048-982-2330
FAX 048-984-5271



福祉について考える。点字・手話体験（2回）

4年生の総合的な学習の時間では、吉川市社会福祉協議会や点字サークル（てんてんさん）の皆様の協力いただき、手話や点字体験を行いました。前半は、目の不自由な方の生活や工夫について伺い、後半は、実際に点字を打ったり読んだりしました。また少し、福祉について理解が深まりました。



収穫体験活動（焼き芋交流）

2年生が収穫した、サツマイモを地域の学校応援団（山崎様・秋山様）が焼き芋にしてくださり、おいしくいただきました。子供たちはホッカホカの焼き芋を喫食し、楽しいひと時を過ごしました。



お話ぼけっとさんによる読み聞かせ会

学校応援団のお話ぼけっとさんたちによる、読み聞かせをしていただきました。音楽に合わせて楽しいお話を聞き、子どもたちはお話の世界に引き込まれてしまいました。



シリーズで伝える、三輪野江小学校の昔話⑦

学校に残っている記録では、昭和42年3月16日、三輪野江小学校の校旗ができたそうです。当時、この旗を作成するにあたり、PTAと三輪野江地区全戸のご協力で、紫地の中央に金糸、銀糸で校章を入れた初代の校旗です。現在も校長室にて大切に保管してあります。



1月の行事予定

日	曜	行 事 予 定
1	月	元 日 冬季休業日（学校閉庁日）
2	火	冬季休業日（学校閉庁日）
3	水	冬季休業日（学校閉庁日）
4	木	冬季休業日
5	金	冬季休業日
6	土	
7	日	
8	月	成人の日
9	火	通常日課3時間 第3学期始業式
10	水	通常日課3時間 発育測定
11	木	通常日課4時間 給食開始 避難訓練
12	金	校内書きぞめ競書会・委員会活動
13	土	
14	日	
15	月	TK式学力検査（全学年）
16	火	さわやか相談
17	水	幼小交流（ワカマツ幼稚園来校）
18	木	
19	金	クラブ活動（3年生クラブ見学）
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	入学準備会（学用品購入・入学準備書類提出）
25	木	
26	金	クラブ活動
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	



2月の主な予定
14日（水）授業参観・懇談会（1年・3年・5年・ひ・た）
15日（木）授業参観・懇談会（2年・4年・6年）
19日（月）中学校体験（6年生）

コミュニティ・スクールについて

コミュニティスクール
(学校運営協議会制度)とは？



コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。

学校運営協議会を設置した学校を『コミュニティ・スクール』と呼びます。

学校運営協議会では
どんなことをするの？



学校運営協議会では、地域住民や保護者の代表の方々が、教育の当事者となって学校運営や学校への支援について、子供たちのために話し合いをします。

地域住民や保護者の方々の意見が学校運営に反映されることで、地域に根差した特色のある学校づくりが進んでいきます。学校運営協議会が、未来の地域づくりにつながっていきます。

コミュニティ・スクールが進むと、こんな効果があります



子供たちには

- ・地域全体が学びの場となり、学校内外の学習環境がよくなります。
- ・地域の大人をモデルとし、自分たちが学んだことを生かして生活や地域の課題を解決しようとしています。

保護者には

- ・地域みんなに見守られながら子育てをしているという、安心感が生まれます。
- ・学校や地域への理解が深まり、愛着が生まれます。

地域住民には

- ・学校を核とした地域の方々との一層のつながりにより、防犯・防災に強い安心・安全な地域が作られます。
- ・豊かな人生経験や技能を子供たちに生かすことで、生き甲斐が高められます。

学校には

- ・地域住民や保護者の理解と信頼を得て、充実した学校運営が実現します。
- ・学校・家庭・地域の適切な役割分担により、子供と向き合う時間の確保につながります。

学校運営協議会ではこんなことが話し合われます

ICTの活用が進んでいますね。
子供たちに情報活用能力の育成が重要です。

不登校解消が中学校区の共通課題ですね。どんな取り組みができるだろうか。

地域の子供たちには、こんないいところがありますよ。

1月の下校時刻の変更について (お知らせ)

日	曜	変更を必要とする 行事名	変 更 後 登 下 校 時 刻					
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
9	火	通常日課3時間・始業式	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20
10	水	通常日課3時間	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20
11	木	通常日課4時間	13:10	13:10	13:10	13:10	13:10	13:10
12	金	委員会活動				14:20		
19	金	3年クラブ見学			15:15			